

作文部門審査講評

山形県教育庁義務教育課指導主事 水戸部 修 治

第三十回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール作文部門には、県内六八校より、三一〇点の作品応募がありました。

全国審査最高賞の内閣総理大臣賞を受賞した、鶴岡市立朝日小学校三年生、伊藤浩司さんの作品「夏の、暑い日にぼくは見た」をはじめとして、優れた作品が数多く寄せられました。以下、県審査の結果について紹介します。

第一部（小学校一年生から三年生）

○「なめたみたいなの茶わん」（庄内町立余目第二小学校三年・阿部拓悠真・県知事賞）は、一文を短くした切れの良い表現が光ります。「茶わんの中のごはん一つぶ一つぶが光ってぼくを見ています。」といった表現が読み手の心を引き付けます。また、二つの理由をあげて茶碗のご飯を一粒残らず食べることに結びつけていく組立でも素晴らしい、ご飯が大好きだという気持ちが強く伝わってくる作品です。

○「ぼくのゆめ」（高島町立和田小学校二年・後藤剛・県農協中央会長賞）は、家族の愛情に包まれて、ごはん・お米に対する夢を膨らませていく力強い作品です。種植えを手伝った体験を書き込むことよって、米作りの大変さを感じている様子をとても良く描き出しています。また、毎日家族七人分の八合の米とぎをすることが、最初は慣れなかったのに、家族みんながおいしいと言ってくれることで喜びが変わっていくという描写が心を打ちます。

第二部（小学校四年生から六年生）

○「お米という私達の大切な食料」（東根市立東根中部小学校五年・治部あかね）は、祖母から聞いた六〇年前の話よって、今の自分の生活を見直していく作品です。「じゃ、昔はどうだったの。」「おばあちゃんは少しだまってから、また話し出した。」といった叙述が見事で、読み手も一緒におばあちゃんの話に引き込んでいきます。主食であるお米の大切さを改めて認識したことが、丁寧に表現されています。

○「父に学ぶチャレンジ米作り」（米沢市立関小学校六年・渡部愛）

は、学校での米作り体験で感じた疑問をもとに、父の米作りを見たり聞いたりして感じたことを、素直な言葉で表現した作品です。悩んだり失敗したりしても立ち上がる父の姿を、祖父との会話や自分の思いとかかわらせながら表現することで一層いきいきと描いています。父の姿を通して抱いた米作りへの思いを強く感じさせる文章です。

第三部（中学校一年生から三年生）

○「私の目標」（鶴岡市立朝日中学校三年・齋藤那千）は、家でお米をとぐのを任せられた私が、何気ない日常の中で、祖母とのかかわりよって改めて米の存在を感じていく作品です。身近な米とぎの作業の中で、とぎ方よって米の色が変化したり透明度が増したりしていくことに気付き、米とぎの楽しさを感じていく様子が克明に描かれています。あたかも映画の映像のように、米とぎの際の米の音や粒の透明感が想像できる作品となっています。

○「あったかいごはん」（山形市立山寺中学校一年・佐藤麻衣）は、病気と闘いながらも米作りを続ける祖父の姿に、感謝の心を表す温かみのある作品です。冒頭の「ほわっとあったかい湯気が出てきて、食べるほのかな甘みがあつて」といった、きめ細かい描写よって、ご飯のおいしさがありありと伝わってきます。祖父が病気であるにもかかわらずそのようなおいしい米作りをやめなかったという文章構成が、祖父への強い思いを効果的に表しています。

県学校奨励賞は、庄内町立余目第二小学校と鶴岡市立朝日中学校が受賞しました。おめでとうございます。

文章で表現していくうちに、これまで体験したことや考えたことなどを改めて思い起こし、それらを自分の考えとして組み立て直すことができます。それはきっと、身近な「ごはん・お米」を見つめ直すことをとおして、家族との触れ合いや食の大切さについて考えを深めることにつながっていくでしょう。今後、いのち輝く山形の子どもらしい、地に足のついた作品が多く寄せられることを願っております。

図画部門審査講評

山形市立高橋中学校校長 相 田 修

第三十回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール図画部門には、県内一校より、一〇三一点の作品応募がありました。その中から優れた作品を選び出す県審査を行いましたので、結果を紹介します。

第一部（小学校一年生から三年生）

○「流れおちる米」（山形市立南小学校三年・會田次郎・県知事賞）は、精米器にかけている米が出てくる様子を丁寧に表現しています。機械から出てくる米を見上げる目の動きや顔の表情、サラサラ落ちてくる米に手を差し出す指の一本一本をよく観察して描いており、お米を大切にしている心や、精米したばかりの米の温もりが伝わってくる作品です。水彩画の特徴を生かした色使いが見る人の目を引きつけます。

○「たのしい いねかり」（尾花沢市立名木沢小学校二年・大類海斗・県農協中央会会長賞）は、一生懸命稲刈りをしている様子を生き生きと表現しています。鎌を持つ手や稲をしっかり見て刈り取るうとしていた姿、顔つきをよく見て描いています。稲穂は、豊かな実りが伝わるように頭を垂れた様子で描かれており、収穫の喜びが伝わって来る作品に仕上がっています。

第二部（小学校四年生から六年生）

○「早く、大きくなりたいかな」（鶴岡市立朝日小学校六年・小野寺百茄・県知事賞）は、自分達が行った田植えの様子を生き生きとした木版画に表しています。苗を大事に扱いながら、慎重に田植えを進める二人の姿が見る人に伝わってきます。水に映る人物の影や服のしわなど、彫刻刀を使い分けながら見事に表現しています。白と黒とのバランスが絶妙で、中心になる人物がはっきり分かれます。

○「楽しいいねかり」（南陽市立梨郷小学校五年・浜田ひかり・県農協中央会会長賞）は、いねかりの様子をていねいに描いた作品です。山の斜面につくった田んぼで楽しげに活動している子どもたちの表情が、皆それぞれに生き生きしています。構図のバランスもよく、美しい色合いに仕上がりました。また、稲やくいがけ、遠くのお山々までも線描や点描を生かしながら細かに描いています。一本一本の稲を大切に刈り取った思いがこのような易しく緻密な表現となって現れたのでしょうか。

第三部（中学一年生から三年生）

○「学校での田植え」（米沢市立第六中学校二年・日下部仁美・県知事賞）は、さわやかな季節の中、汗を流して稲を植えている場面がよく描かれています。水面に映る空の青さや自分達の影が透明感あふれる美しい色使いと見事なタッチで表現されています。田の水温や泥の感触と共に初夏の風も感じさせます。慣れない田植えの大変さまで伝わってきます。生徒達の若々しい歓声が聞こえてくるようです。

○「一休み」（山形市立金井中学校二年・木村友美・県農協中央会会長賞）は、農作業の合間に一息ついている場面を描いてくれました。暑い季節の中での大変な仕事の休憩時間、ほっとした安らぎが伝わってきます。自転車やお茶、お弁当など周辺の様子もよく観察しています。絵の具で描いた上から全体的に色鉛筆をのせる手法も効果的に画面を整えています。家族の絆と共に、収穫に向かう喜びも伝わってきます。

県学校奨励賞は、尾花沢市立高橋小学校と昨年に引き続き山形市立金井中学校が受賞しました。おめでとうございます。

また、全国審査の結果、山形市立第九中学校三年・三浦潤平くんの「実りの秋」が最高賞の内閣総理大臣賞を、また同校三年・今野桃子さんの「田植えの時期」が全国農業協同組合中央会会長賞を受賞されました。本当におめでとうございます。

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの図画部門の作品の特徴は、自然や家庭の中で児童生徒や家族などの人々が、生き生きと活動している場面がほとんどである点です。そこに描かれている人々は表情豊かで温かい雰囲気にあふれ、健康的で生きる力に満ちています。体験を通して得た実感をともに、工夫して表現できる点が、優れた作品を生み出すのでしょうか。今後は、一人ひとりが個性的な表現を目指せる指導がなされることをさらに期待したいものです。

第24回	第23回	第22回	第21回	第20回	第19回
<p>●県知事賞 阿部 将敏(最上町) 橋本 菜穂(最上町) 伊藤 明希(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 渡邊 雅正(酒田市) 阿部 奈美(鶴岡市) 斎藤芽衣子(朝日村)</p> <p>●優秀賞 白幡 梓(鶴岡市) 丸山 里佳(榑引町) 田中 麻衣(山形市) 斎藤 陽一(山形市) 高橋 真莉(最上町) 渡辺 大(南陽市) 加藤 梓(鶴岡市) 押切 成美(最上町) 安達 千李(三川町) 古川 悠(高島町) 遠藤 俊一(天童市) 清野 舞(朝日村) 清和 千秋(榑引町) 瀧口 夏子(天童市) 庄司 千鶴(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 本間 明音(鶴岡市) 渡部 大地(朝日村) 有賀真紀子(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 黒坂 雄志(最上町) 竹田実穂子(米沢市) 斎藤芽衣子(朝日村)</p> <p>●優秀賞 結城 智裕(最上町) 岸 詩音(最上町) 高橋 隆浩(高島町) 稲葉 彬(天童市) 近野健三郎(高島町) 阿部 晴美(最上町) 小野寺美夏(朝日村) 大谷汐李(飯豊町) 原田 久美(最上町) 田中絵理加(最上町) 結城 重則(東根市) 高橋 愛実(山形市) 佐藤 牧(朝日村) 伊藤 智広(高島町) 本木いづみ(東根市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 三浦 春菜(鶴岡市) 黒坂 星児(最上町) 萩原菜ツ美(高島町)</p> <p>●県中央会会長賞 大石 美恵(最上町) 菅 喜美広(最上町) 森谷さとり(天童市)</p> <p>●優秀賞 阿部 裕子(尾花沢市) 菅原 南(鶴岡市) 高橋 隆浩(高島町) 加藤 梓(鶴岡市) 藤畑 康宏(最上町) 佐藤 秀樹(最上町) 奥山 恵里(最上町) 石山 崇人(最上町) 阿部 留佳(朝日村) 菅 晃菜(最上町) 島津 智子(高島町) 佐藤真寿美(高島町) 阿部 哲(南陽市) 伊藤 千尋(朝日村) 小川 結(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立斎小学校 高島町立第一中学校</p>	<p>●県知事賞 加藤 梓(鶴岡市) 加賀 知世(尾花沢市) 村山 直美(天童市)</p> <p>●県中央会会長賞 橋本 菜穂(最上町) 原田 久美(最上町) 小座間裕子(天童市)</p> <p>●優秀賞 岸 健一郎(最上町) 山田 寿広(最上町) 大石 美恵(最上町) 後藤 明美(高島町) 近野 健二(高島町) 大場 哲也(最上町) 石山 雄洋(最上町) 石山満理奈(最上町) 佐藤 康德(米沢市) 斎藤真貴子(朝日村) 氏居 生良(山形市) 前田 恵美(山形市) 中嶋 桃子(山形市) 原田 嵐子(天童市) 五十嵐小夜子(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 高島町立屋代小学校 天童市立第二中学校</p>	<p>●県知事賞 鈴木 裕美(高島町) 堀 文子(酒田市) 高梨 邦拓(高島町)</p> <p>●県中央会会長賞 小松 主音(高島町) 柴田 育恵(大石町) 後藤 友岐(米沢市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 駿佑(米沢市) 吉田 洋平(高島町) 矢口 渡(鮭川村) 大場 智美(最上町) 奥山 恵里(最上町) 鈴木まりこ(山形市) 小山田由起子(河北町) 菅 晃太(最上町) 伊藤理恵子(米沢市) 阿川 麻里(山形市) 東海林 宏(山形市) 中鉢 佳奈(天童市) 佐藤 紘子(朝日村) 清野 美幸(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 高島町立和田小学校 天童市立第二中学校</p>	<p>●県知事賞 加藤 映(鶴岡市) 菅 晃太(最上町) 後藤 友岐(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 奥山 恵里(最上町) 有川 聡美(村山市) 柿崎 真吾(山形市)</p> <p>●優秀賞 赤松かおり(最上町) 佐藤 夏佳(最上町) 岩瀬 直紀(高島町) 菅原由紀(米沢市) 阿部 達也(立川町) 安達 聖澄(山形市) 青山 光(山形市) 奥山 佳希(最上町) 佐藤 一貴(立川町) 荒木 恵(鮭川村) 土屋 秀憲(山形市) 高橋 祐也(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 山形大学教育学部附属中学校</p>
<p>●県知事賞 熊谷 朋美(尾花沢市) 渡辺 麻美(尾花沢市) 佐藤 瑠子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 須田 雄飛(鶴岡市) 鈴木 愛香(寒河江市) 長岡 和美(山形市)</p> <p>●優秀賞 原田 初美(尾花沢市) 吉田 龍一(大石町) 結城 弘斗(最上町) 佐藤 成美(尾花沢市) 船山 達郎(白鷹町) 土屋 範晃(尾花沢市) 五十嵐祐大(鶴岡市) 村井 法子(尾花沢市) 西尾 円華(尾花沢市) 岸 貴大(尾花沢市) 矢口 亜紀(山形市) 井上 庸(上山市) 鈴木 裕子(山形市) 西村 愛子(山形市) 青柳 悠香(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 寒河江市立寒河江中部小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 五十嵐祐大(鶴岡市) 菅野 瞳(尾花沢市) 武田 彩子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 西塚 真治(尾花沢市) 今野 里紗(鶴岡市) 長尾 藍(山形市)</p> <p>●優秀賞 小林 由典(白鷹町) 落合 和也(尾花沢市) 木村 和人(鶴岡市) 佐藤 綾子(尾花沢市) 本間 翔太(尾花沢市) 高橋 茉莉(最上町) 大山 美幸(尾花沢市) 赤松かおり(最上町) 工藤 竜也(尾花沢市) 佐藤 伸也(新庄市) 鈴木 裕子(山形市) 友寄 歩惟(上山市) 庄司美智子(上山市) 遠藤真理子(山形市) 遠藤由紀子(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立栄小学校 上山市立北中学校</p>	<p>●県知事賞 本間 裕紀(尾花沢市) 飛渡 沙織(大石町) 菊池 佳子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 遠藤 美佳(尾花沢市) 渡部 達(朝日村) 佐藤 瑠子(山形市)</p> <p>●優秀賞 伊藤 由貴(尾花沢市) 渡部みなみ(高島町) 荒木 渚(鮭川村) 横山 浩輔(尾花沢市) 高橋 真美(最上町) 北條 隆大(最上町) 星川 瑠美(尾花沢市) 小野 貴紀(尾花沢市) 高橋 梨絵(最上町) 庄司 修(最上町) 溝越 清美(山形市) 公平 央恵(米沢市) 小野 展裕(山形市) 武田 彩子(山形市) 吉田由紀子(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立玉野小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 渡邊 克也(最上町) 有路 沙織(尾花沢市) 菊池 佳子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 大山 和(尾花沢市) 高橋 雄太(尾花沢市) 會田 恵里(山形市)</p> <p>●優秀賞 須藤 賢東(山形市) 古瀬 友香(尾花沢市) 伊藤 敏彦(尾花沢市) 岡野 浩美(最上町) 加地華南子(高島町) 花輪みゆき(天童市) 笹原可奈子(尾花沢市) 五十嵐隆介(尾花沢市) 古瀬智佳子(尾花沢市) 武田ゆかり(尾花沢市) 高橋 栄(山形市) 栗原 美穂(山形市) 阿部 誠司(山形市) 丹 奈帆子(山形市) 寺崎 久世(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第五中学校</p>	<p>●県知事賞 大類 祐美(尾花沢市) 白井 靖浩(尾花沢市) 斎藤 明子(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 深瀬 美幸(高島町) 岩松 泉(山形市) 有路 奈央(大石町)</p> <p>●優秀賞 森谷 雄太(山形市) 長岡 希(山形市) 小林 龍宏(尾花沢市) 土屋 引一(南陽市) 工藤 誠昭(朝日村) 齋藤 啓(大石町) 加藤 初恵(尾花沢市) 奥山 和泉(尾花沢市) 岡野 咲子(最上町) 渡部 禎子(南陽市) 原田 沙樹(山形市) 池野まり子(山形市) 入間 利恵(高島町) 青柳みちよ(高島町) 阿部 陽一(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立向町小学校 山形市立第四中学校</p>	<p>●県知事賞 伊藤 桃子(尾花沢市) 高橋 裕(最上町) 竹俣 太郎(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 樋口 裕斗(最上町) 高橋 一輝(尾花沢市) 武田由美子(山形市)</p> <p>●優秀賞 荒澤 雄太(山形市) 加藤 浩太(尾花沢市) 向田絵梨子(白鷹町) 白旗 典大(鶴岡市) 安野 妙子(鶴岡市) 大石 圭美(天童市) 長南 清香(朝日村) 鈴木 洋子(尾花沢市) 鈴木 雄太(尾花沢市) 島津 展子(高島町) 松田多恵子(山形市) 佐藤ひとみ(山形市) 奥山 舞(河北町) 奥山 佳子(河北町) 菅原 陽子(大石町)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立向町小学校 山形市立金井中学校</p>

第30回	第29回	第28回	第27回	第26回	第25回
<p>●県知事賞 阿部拓悠真(庄内町) 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 剛(高島町) 渡部 愛(米沢市) 佐藤 麻衣(山形市)</p> <p>●優秀賞 渡部 由夢(高島町) 阿部 理沙(鶴岡市) 高橋 恵美(最上町) 阿部 貴之(鶴岡市) 齋藤 蓮奈(鶴岡市) 佐藤 彩絵(鶴岡市) 菅野明日香(高島町) 小林 桜子(山形市) 有賀この美(鶴岡市) 佐藤 誠(庄内町) 山口 真盛(鶴岡市) 川田美沙樹(山形市) 今野 若奈(鶴岡市) 榎本有紀子(鶴岡市) 富樫 美穂(南陽市)</p> <p>●学校奨励賞 庄内町立余目第二小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 浩司(朝日村) 石山 芽生(最上町) 大湊 希(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 貴之(榊引町) 齋藤 玲奈(羽黒町) 阿部 咲輝(朝日村) 佐藤 緑(山形市) 鈴木菜都美(大石田町) 上野由香里(朝日村) 難波 和希(朝日村) 山木 理央(高島町) 香澤 真佑(最上町) 橋本 大来(最上町) 大浦 沙織(高島町) 齋藤 那千(朝日村) 御橋夏津子(鶴岡市) 武田 奈緒(鶴岡市) 清野 郁(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>●県知事賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 奥山 雅生(最上町) 守岡 雄朗(鶴岡市) 工藤 瑞徳(東根市)</p> <p>●優秀賞 石山 加奈(最上町) 菅 風沙(最上町) 伊藤 匠平(最上町) 渋谷 生帆(鶴岡市) 清野 真希(鶴岡市) 今井 大輔(鶴岡市) 菅井美香子(村山市) 五十嵐由香(鶴岡市) 大池 響子(米沢市) 阿達 大和(最上町) 稲垣茉里香(長井市) 土方 花重(鶴岡市) 南齋 宏駿(米沢市) 貝田 理沙(山形市) 宮崎加奈子(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 伊藤佐久磨(朝日村) 小野寺寛貴(鶴岡市) 菅原 香織(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 睦美(朝日村) 本間 稚菜(鶴岡市) 安孫子 郁(天童市)</p> <p>●優秀賞 二宮明日香(高島町) 阿部亜紗子(最上町) 大貫 秀平(最上町) 清野 史拓(朝日村) 佐藤 拓夢(鶴岡市) 岸 はづき(最上町) 渋谷 彩希(山形市) 二戸 浩太(最上町) 阿部 貴敏(最上町) 秋野 寛斎(鶴岡市) 松田 恵(南陽市) 川崎 成也(南陽市) 清野 郁(朝日村) 中里恵里香(朝日村) 難波 和宏(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 今井 大輔(鶴岡市) 佐藤 世和(米沢市) 小野寺千賀(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 水谷ひらり(山形市) 結城 智裕(最上町) 渡辺真理子(高島町)</p> <p>●優秀賞 小野寺陽奈(朝日村) 大場たくや(最上町) 鈴木 玲奈(高島町) 後藤なつみ(高島町) 志藤 貴俊(三川町) 大場 麻由(最上町) 大場 剛(最上町) 和田真由子(鶴岡市) 石山 樹里(最上町) 清野 郁(朝日村) 佐藤 和磨(山形市) 清野 優(朝日村) 清野 舞(朝日村) 遠藤 晃毅(朝日村) 井上 寛子(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>●県知事賞 岸 詩音(最上町) 難波 裕人(鶴岡市) 佐藤 望(天童市)</p> <p>●県中央会会長賞 森 麻美(榊引町) 佐藤 香織(山形市) 清野 舞(朝日村)</p> <p>●優秀賞 今井 大輔(鶴岡市) 三浦 幸希(鶴岡市) 酒井 健太(山形市) 佐藤 大輝(鶴岡市) 佐藤 真生子(最上町) 齋藤 那千(朝日村) 阿部 貴敏(最上町) 小野 翔(米沢市) 安達 美有(朝日村) 佐藤 若佳(最上町) 菅原 香織(朝日村) 大滝まど佳(朝日村) 菅原 泰隆(鶴岡市) 荒井 郁(山形市) 小林千恵子(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>
<p>●県知事賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市) 日下部仁美(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 大類 海斗(尾花沢市) 浜田ひかり(南陽市) 木村 友美(山形市)</p> <p>●優秀賞 星川 瑞生(山形市) 石山 詩徳(尾花沢市) 新田 尚太(山形市) 笹原浩太郎(尾花沢市) 佐藤つぐみ(鶴岡市) 加賀 東杜(大石田町) 溝越 舞子(尾花沢市) 藤谷 睦姫(鶴岡市) 鈴木 潤(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 遠藤 瑞紀(山形市) 伊藤 茜(山形市) 神田 涼真(山形市) 佐藤 勇太(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立高橋小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 茉純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 笠原 錬(最上町) 難波 沙英(朝日村) 小野紗由季(山形市)</p> <p>●優秀賞 東海林梨奈(尾花沢市) 倉金 卓美(尾花沢市) 柴崎 日向(尾花沢市) 原田 桃香(尾花沢市) 阿部 風子(尾花沢市) 西尾 昂太(尾花沢市) 荘司 留加(尾花沢市) 齋藤 千佳(朝日村) 七森 結花(朝日村) 佐藤 光(温海町) 古関 彰(山形市) 花等 雄太(山形市) 小玉 愛(上山市) 古川 千夏(山形市) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 笹原 瑞紀(尾花沢市) 乙坂ひかり(温海町) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 蛸井 葉月(鶴岡市) 難波 紗矢(朝日村) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 翼(最上町) 高野 陽希(最上町) 木村さえり(鶴岡市) 高橋 龍星(大石田町) 本間 円(尾花沢市) 佐藤真理絵(温海町) 小内 将弘(尾花沢市) 鈴木 結(藤島町) 國分 雅哉(尾花沢市) 須田 琳子(鶴岡市) 日下部まどか(山形市) 設楽なつみ(山形市) 清野 美香(山形市) 伊藤 歩(山形市) 吉田真優美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 温海町立温海小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 荘司 留加(尾花沢市) 伊藤 祐太(尾花沢市) 村上 美紀(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 阿部 行成(鶴岡市) 須田 雄飛(鶴岡市) 武田亜沙美(山形市)</p> <p>●優秀賞 庄司 栞菜(尾花沢市) 村岡 孝一(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 渡部 香菜(朝日村) 佐藤 史彬(高島町) 渡辺 大平(尾花沢市) 菅野 慎也(尾花沢市) 有路 里香(尾花沢市) 古瀬 裕真(尾花沢市) 阿部 貴文(鶴岡市) 古川 知美(山形市) 須貝 恵美(山形市) 高島 香織(山形市) 椎名 俊一(山形市) 鈴木 聖美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第三中学校</p>	<p>●県知事賞 清野 史拓(朝日村) 小林 由佳(山形市) 高島 香織(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 武田 翼(尾花沢市) 須田 雄飛(鶴岡市) 小松 恵梨(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 奨平(尾花沢市) 佐藤 奨啓(寒河江市) 国分 健太(尾花沢市) 工藤 大周(西川町) 佐藤 秀太(寒河江市) 五十嵐 隼(朝日村) 土屋 昶史(尾花沢市) 安達 美咲(高島町) 倉金 侑香(尾花沢市) 永沢 都(尾花沢市) 田村 里奈(山形市) 村上 美紀(山形市) 須貝 恵美(山形市) 本田 裕子(山形市) 長岡亜由美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>●県知事賞 半田さやか(山形市) 菅野 慎也(尾花沢市) 長島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 菅 友絵(最上町) 小野麻里子(尾花沢市) 齋藤 利恵(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 凌(寒河江市) 岸 英里香(最上町) 小林 育実(最上町) 佐藤 拓実(鶴岡市) 丹野 泰長(山形市) 須田 雄飛(鶴岡市) 片岡 勇人(最上町) 佐藤かおり(山辺町) 大久保 康(藤島町) 福田紗久佳(最上町) 高島 香織(山形市) 鈴木 綾(米沢市) 小野友加奈(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立南山形小学校 山形市立金井中学校</p>

第30回 「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール審査経過の概要

■応募数

作文：310点
 図画：1,056点 合計 1,366点

区分	第1部	第2部	第3部	計
作文部門	67点	87点	156点	310点
図画部門	523点	496点	37点	1,056点

■審査

(1) 県予選審査期日（各部門開催）

平成17年10月17日(月) 図画部門
 平成17年10月21日(金) 作文部門

(2) 全国コンクールの結果

内閣総理大臣賞2名、全国農業協同組合中央
 会会長賞1名、優秀賞4名（作文部門2名、図
 画部門2名）、学校奨励賞2校

(3) 県審査会期日（作文・図画部門合同で開催）

平成18年1月18日(水)

(4) 入賞作品数

山形県知事賞 作文3点、図画3点
 山形県農業協同組合中央会会長賞 作文3点、図画3点
 優秀賞 作文15点、図画15点
 学校奨励賞 作文2校、図画2校

■審査員

作文部門（5名）

水戸部修治(山形県教育庁義務教育課指導主事)
 三條久美子(上市市立中川小学校教諭)
 大内いずみ(山形市立第十小学校教諭)
 伊藤厚子(山形市立山寺中学校教諭)
 山口香子(山辺町立谷沢中学校教諭)

図画部門（4名）

相田修(山形市立高楯中学校校長)
 大澤哲夫(山形市立第四小学校教諭)
 進藤初美(山形市立南山形小学校教諭)
 笹原聡(山形県教育庁村山教育事務所指導主事)

■表彰式

平成18年2月4日(土)

山形市「オーヌマホテル」

年度	部門	第1部	第2部	第3部	合計
4 (第17回)	作文 図画	212 982	350 767	135 32	697 1,781
5 (第18回)	作文 図画	210 1,276	359 964	217 54	786 2,294
6 (第19回)	作文 図画	167 1,164	330 820	179 53	676 2,037
7 (第20回)	作文 図画	220 781	300 647	138 23	658 1,451
8 (第21回)	作文 図画	201 639	337 507	152 66	690 1,212
9 (第22回)	作文 図画	63 643	229 461	69 40	361 1,144
10 (第23回)	作文 図画	75 907	137 594	117 47	329 1,548
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056

●第30回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領●

1. 趣旨

このコンクールは、ごはん食や稲作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般と、ごはん食が健康に結びつくことを見直してもらうとともに、次世代の子供たちに稲作農業が果たす多面的な働きとごはん食の重要性、人々とのコミュニケーション作りをはかるために実施します。

また、全国段階のコンクールと並行し、同一趣旨で実施します。

2. 「作文・図画の課題」「応募資格」

「応募規格（枚数・大きさ）」「応募規則」

全国段階の募集要領を適用します。

(注) 応募作品は返却いたします。また、作品の著作権は全国農業協同組合中央会に属します。

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、さらにお米に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。なお、盲学校、聾学校および養護学校の小学部、中学部も上記の小学校、中学校に準ずるものとします。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

- 1部 小学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙2枚以内)
- 2部 小学校4年生～6年生
(400字詰市販原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙4枚以内)

●図画部門

- 1部 小学校1年生～3年生
- 2部 小学校4年生～6年生
- 3部 中学校1年生～3年生
B3判(36.4センチ×51.5センチ)相当の市販用紙を使用。画材はとくに制限しません。

※地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- 課題にそった作品を対象とします。
- 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- ひとりで1部門に2点以上は応募できません。
- 図画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの)のものは応募できません。
- 学校で応募の際は、別添の応募者明細表を必ず添付してください。
- 作品には、1点ごとにつぎの事項を記入した応募票をつけてください。(下に見本)
つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。

- ①作品の題名 ④学校所在地(郵便番号・電話番号)
- ②氏名・性別 ⑤本人住所(郵便番号・電話番号)
- ③学校名・学年・組 ⑥J A名(農協名)

3. 締切日

平成17年10月7日(金)(必着)

4. 入賞発表

全国発表 平成17年12月上旬
本県発表 平成18年1月下旬

5. 賞

全国審査の全国表彰のほか、本県審査により次の表彰を行います。

●山形県知事賞

両部門各部門ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から1万円相当の図書券)

●山形県農業協同組合中央会会長賞

両部門各部門ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から5千円相当の図書券)

●優秀賞

両部門各部門ごとに5名 計30名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から3千円相当の図書券)

●学校奨励賞

両部門ごとに2校 計4校
(賞状と山形県農業協同組合中央会から2万円相当の図書券)

6. 審査員

県教育庁、小・中学校教諭、J A山形中央会

7. 応募先

(1) 県内の各J Aを受付窓口とします。

(2) 県段階は次に問合わせください。

〒990-0042

山形市七日町三丁目1-16

山形県農業協同組合中央会

(J A山形中央会)

農業・農政部

「作文・図画コンクール」係

T E L 023-634-8114

F A X 023-633-1754

8. 全国段階との関連

(1) 県段階で予備審査を行い、各部門ごと数点を全国に推薦します。

(2) 全国審査終了後、全国から返送された作品を含め、本県の本審査を行い、県段階の優秀作品を決定します。

作品の課題		
ふりがな氏名		性別 男・女
ふりがな学校名	立	学校 年 組
ふりがな学校所在地	〒	TEL
ふりがな本人住所	〒	TEL
J A名 (農協名)		

(注) 太い線で囲んだ部分は必ず記入して下さい。ふりがなも必ず記入して下さい。

夏の、暑い日にぼくは見た

三年 伊藤 浩司

じいちゃん本当だ。花さいつたの

をいつばい、に浴びて、今年の夏も大きく育ちました。ぼくは、なえうえのころから手伝いをして、清くをしたり、かりとりのいねはこびをしたりしてました。

「お米つて、いねの束だから、花をさぐなだその見でさつかい」

そう言われたぼくは、八月の暑い、夏休みのある日、田んぼに出てみたのです。

花は、いねのほか出はじめるし、先たんの方からさいていきます。いつも見なれていていねのかはが半分はわけていました。(ああ、これでは、米がたやなってしまう) そう思いながらおぼろついでよく見てみると、うすい黄色の花がらが見えました。中からは、おしべやめしべも出ているようです。(花だ、たのか、米も、こうやって花をさかせて実っていく人

だなも。初めてじいちゃんに見た。続けて見てみよう。そう思って、かんさつすることにした。

一本の花がさおわるまでは、三日から四日くらいかかります。花がおわると、それからからせとじて実り始めました。

「まっじ、これ、しぼってみれ」

2

じいちゃんに言われて、おぼろついでと中から牛にゅうのめうなものが出てきました。これが、だんだんかたくなつて米になるのだそうです。今は、花をさかせてピン、とのびているいねだけと、この実かみのるにつれて、つりさおのようになれてくるのです。

「このもみの中で、知らない間にこんなことがおきているんだ。のそいてみたいなあ。」と考えていると、じいちゃん、

「これがのりぬたいになつてくるよ、すずめのか食べに来る。だから糸をはるんだぞ」と言いました。そうだったのか。今年は、糸はりも手つだつて、実りを待つと思えます。

内閣総理大臣賞

鶴岡市立朝日小学校三年

伊藤 浩司さん

